

# 令和3(2021)年度子どもの読書活動に関する実態調査結果

実施時期 令和4(2022)年1月～2月

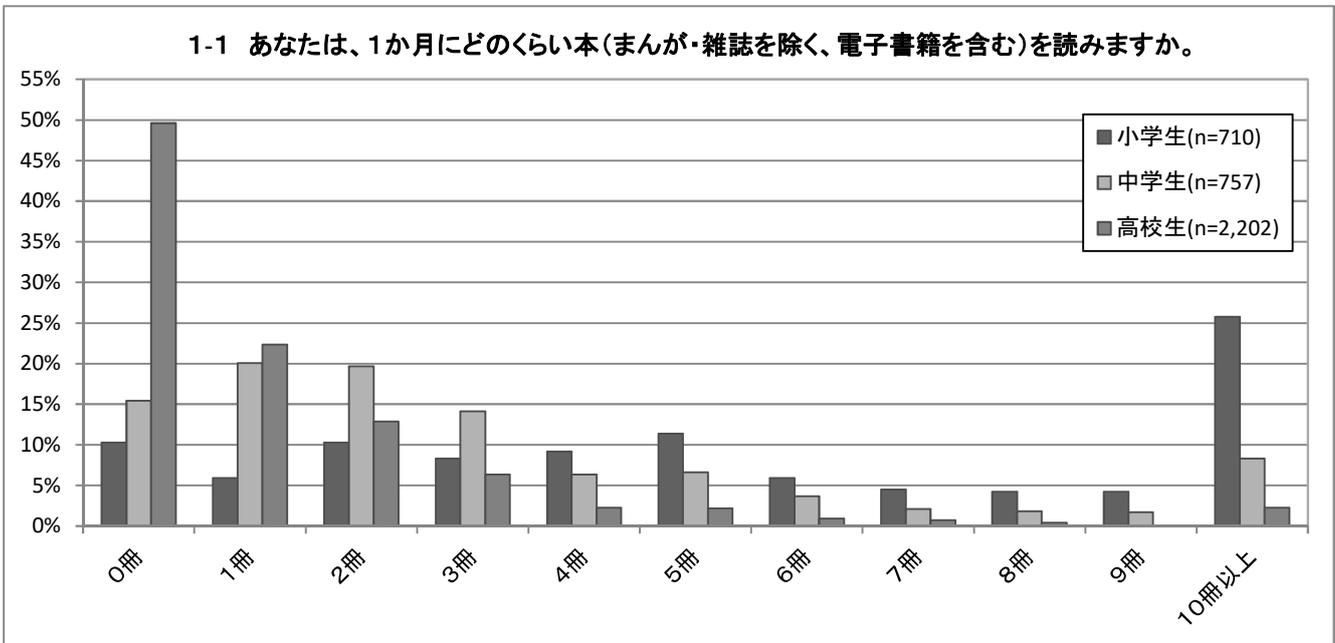
調査対象 小学校 県内21校の5年生 各校1～2クラス  
 中学校 県内20校の2年生 各校1～2クラス ※義務教育学校の該当学年を含む。  
 高等学校 県立全日制高等学校全校、及び学悠館高等学校の2年生 各校1～2クラス  
 ※1クラスが30人に満たない場合、複数クラスを対象とした。

調査対象者数 小学生720名、中学生759名、高校生2,209名

## 1-1 1か月の読書量(朝の読書など学校の読書活動で読んでいる本を含む)

学齢が上がるにつれて、不読率(「1か月の読書量が0冊」の割合)は高くなる。特に高校生の不読率は50%弱と高い割合になっている。

小学生については、1か月に10冊以上読む多読者の割合が高い一方で、不読者が10%を超え増加傾向にある。電子書籍の利用は特に中学生において増加しており、高校生の利用割合とはば差が見られない。



1か月の平均読書量(まんがや雑誌を除く)

小学生	8.38 冊
中学生	4.20 冊
高校生	1.45 冊

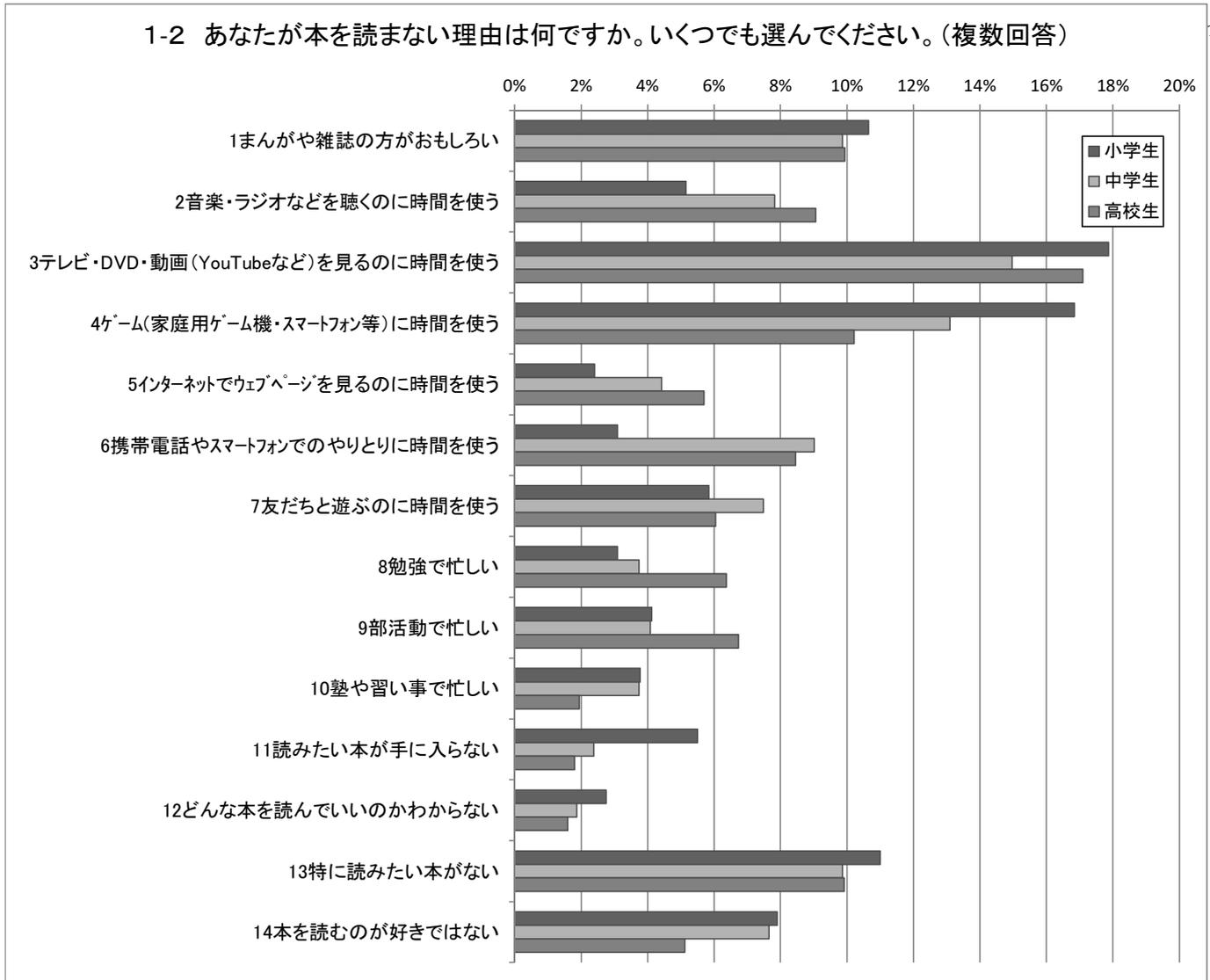
全読書冊数のうち、電子書籍による読書が占める割合

	電子書籍の割合	電子書籍(冊)	全読書冊数(冊)
小学生	9.5%	564	5,953
中学生	24.2%	769	3,181
高校生	25.9%	828	3,202

	0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊以上	計
小学生	73	42	73	59	65	81	42	32	30	30	183	710
(割合)	10.3%	5.9%	10.3%	8.3%	9.2%	11.4%	5.9%	4.5%	4.2%	4.2%	25.8%	100.0%
中学生	117	152	149	107	48	50	28	16	14	13	63	757
(割合)	15.5%	20.1%	19.7%	14.1%	6.3%	6.6%	3.7%	2.1%	1.8%	1.7%	8.3%	100.0%
高校生	1,092	492	283	140	50	48	20	16	9	2	50	2,202
(割合)	49.6%	22.3%	12.9%	6.4%	2.3%	2.2%	0.9%	0.7%	0.4%	0.1%	2.3%	100.0%

1-2 本を読まない理由(1か月の読書量が「0冊」の者のみ回答)

全ての世代において、「テレビ・DVD・動画(YouTubeなど)の視聴に時間を使う」と回答する割合が最も高くなっている。さらに、「ゲーム」、「まんがや雑誌」(いずれも全世代)、「スマートフォン等電子メディアの利用」(中・高生世代)が不読の理由として多く挙げられている。余暇を過ごす魅力的な選択肢が多くある一方で、「特に読みたい本がない」ことから、読書離れが進んでしまう状況がうかがえる。



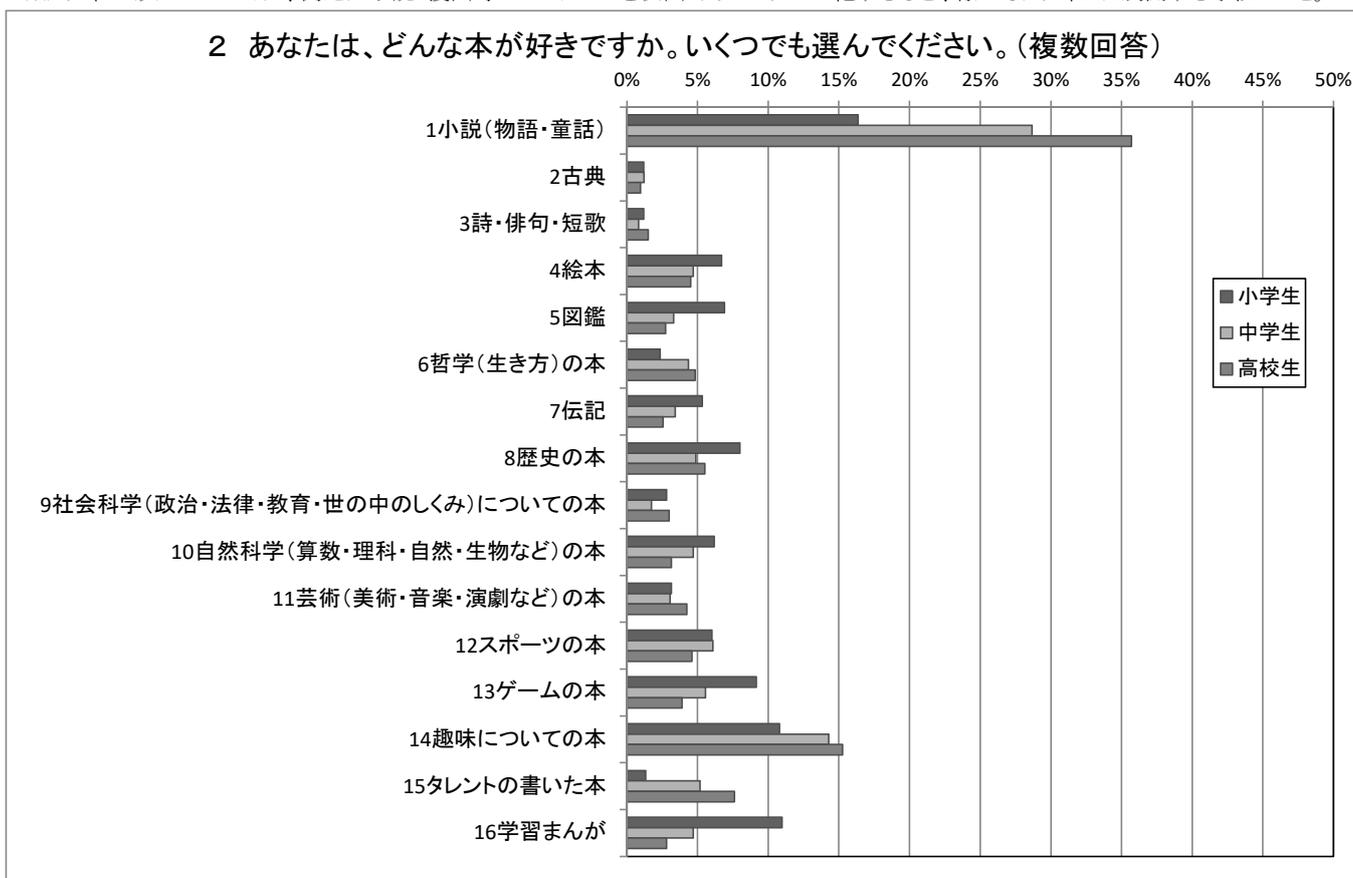
	小学生		中学生		高校生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1まんがや雑誌の方がおもしろい	31	10.7%	58	9.9%	429	9.9%
2音楽・ラジオなどを聴くのに時間を使う	15	5.2%	46	7.8%	391	9.1%
3テレビ・DVD・動画(YouTubeなど)を見るのに時間を使う	52	17.9%	88	15.0%	738	17.1%
4ゲーム(家庭用ゲーム機・スマートフォン等)に時間を使う	49	16.8%	77	13.1%	441	10.2%
5インターネットでウェブページを見るのに時間を使う	7	2.4%	26	4.4%	246	5.7%
6携帯電話やスマートフォンでのやりとりに時間を使う	9	3.1%	53	9.0%	365	8.5%
7友だちと遊ぶのに時間を使う	17	5.8%	44	7.5%	261	6.0%
8勉強で忙しい	9	3.1%	22	3.7%	275	6.4%
9部活動で忙しい	12	4.1%	24	4.1%	291	6.7%
10塾や習い事で忙しい	11	3.8%	22	3.7%	84	1.9%
11読みたい本が手に入らない	16	5.5%	14	2.4%	78	1.8%
12どんな本を読んでいいのかわからない	8	2.7%	11	1.9%	69	1.6%
13特に読みたい本がない	32	11.0%	58	9.9%	428	9.9%
14本を読むのが好きではない	23	7.9%	45	7.7%	221	5.1%

※網掛けは、各世代の上位3項目(中・高は3位が同率)

## 2 本の嗜好

全ての世代において、「小説(物語・童話)」が好きと答える割合が非常に高く、「趣味についての本」と答える割合も高い。また、自由記述においても「漫画やゲーム等のノベライズ」や「ライトノベル」を好む傾向が強く見られ、娯楽としての読書の傾向が高いことや、メディアミックスによる読書推進が全ての世代に対して有効であることなどが読み取れる。

※メディアミックス:ここでは、例えば小説・漫画等のコンテンツを映画・ドラマ・ゲーム化するなど、様々なメディアに展開する手法のこと。



	小学生		中学生		高校生	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1小説(物語・童話)	403	16.4%	598	28.7%	1,656	35.7%
2古典	29	1.2%	25	1.2%	45	1.0%
3詩・俳句・短歌	29	1.2%	17	0.8%	69	1.5%
4絵本	165	6.7%	98	4.7%	209	4.5%
5図鑑	170	6.9%	69	3.3%	127	2.7%
6哲学(生き方)の本	58	2.4%	91	4.4%	224	4.8%
7伝記	131	5.3%	71	3.4%	118	2.5%
8歴史の本	197	8.0%	102	4.9%	255	5.5%
9社会科学(政治・法律・教育・世の中のしくみ)についての本	69	2.8%	36	1.7%	139	3.0%
10自然科学(算数・理科・自然・生物など)の本	152	6.2%	98	4.7%	145	3.1%
11芸術(美術・音楽・演劇など)の本	77	3.1%	64	3.1%	197	4.2%
12スポーツの本	148	6.0%	127	6.1%	213	4.6%
13ゲームの本	225	9.1%	116	5.6%	181	3.9%
14趣味についての本	266	10.8%	298	14.3%	707	15.2%
15タレントの書いた本	33	1.3%	108	5.2%	352	7.6%
16学習まんが	270	11.0%	98	4.7%	130	2.8%

※網掛けは、各世代の上位3項目

### 17その他の内訳

#### 【小学生】

・辞書、事典・雑学(2)・謎解き、なぞなぞ(3)・占い(2)・怖い話(8)・動物(2)・鉄道(2)・機械・料理、スイーツ(6)・手芸、工作(4)・写真集  
 ・職業に関する本・百人一首・ノンフィクション  
 《小説》・ライトノベル・ミステリー(3)・文豪の本

#### 【中学生】

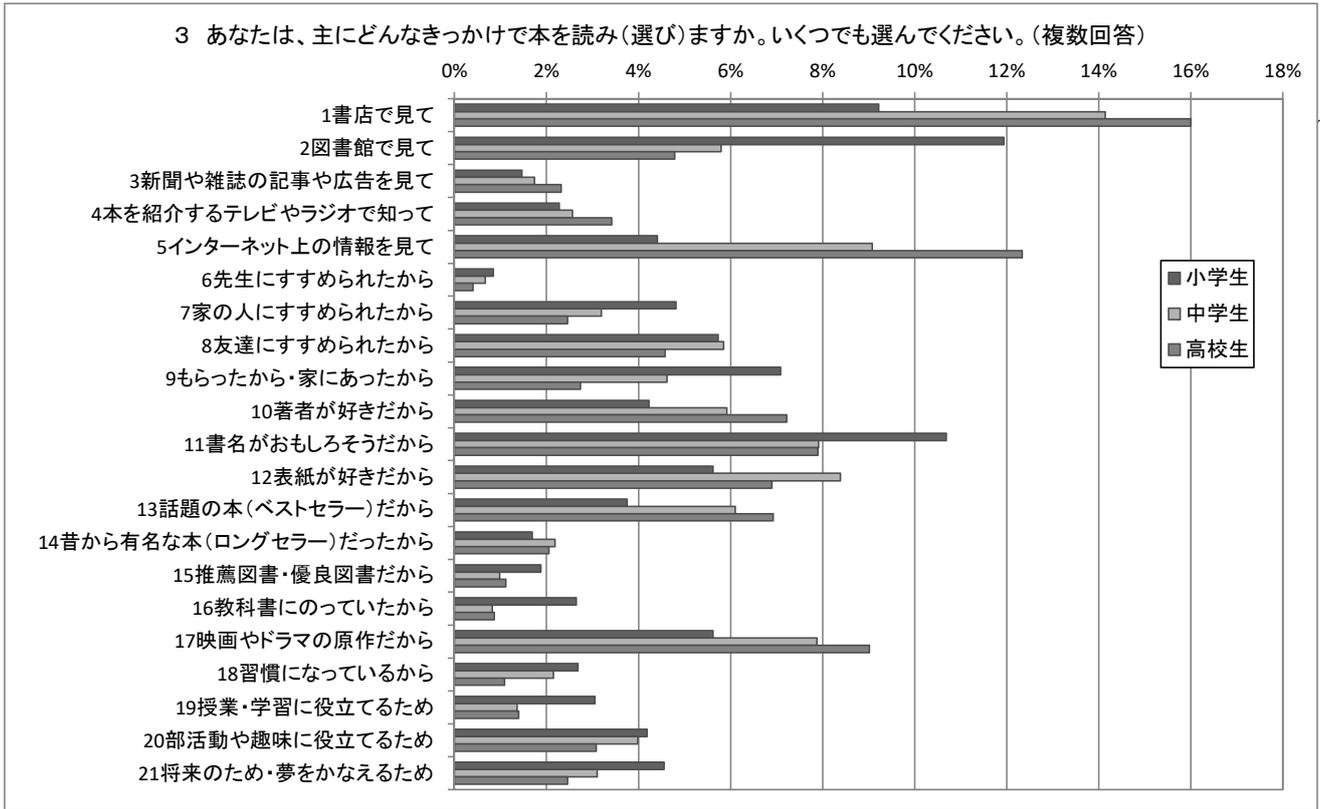
・辞書、事典、地図(2)・雑学(3)・心理学(2)・自己啓発本(2)・宗教・占い、血液型(5)・怪談、ホラー(5)・法律・金融・料理  
 ・写真集・職業、進路に関する本(2)・ノンフィクション(2)  
 《小説》・ドラマ、映画、アニメ等のノベライズや原作、二次創作(10)・ライトノベル(8)・ファンタジー(3)・ミステリー、推理小説(10)・恋愛小説(7)  
 ・SF・青春小説・Web小説・日常系・文豪が書いた本(3)

#### 【高校生】

・辞書、事典・自己啓発本(2)・心理学(3)・宗教(2)・怪談(4)・伝記、自伝(3)・法律・ビジネス本(4)・学習、進学関係(2)・料理、スイーツ(4)  
 ・外国語の本・ノンフィクション(2)・エッセイ(9)・新書  
 《小説》・ドラマ、映画、アニメ等のノベライズや原作、二次創作(17)・ライトノベル(30)・ファンタジー(2)・ミステリー、推理小説(15)・恋愛小説(5)  
 ・青春小説、日常系(4)・冒険小説・WEB小説・泣ける本・短編、オムニバス(2)

### 3 読書のきっかけ

小学生は「図書館で見て」、中学生は「書店で見て」と答える割合が最も高く、実際に本を手にとることが読書のきっかけとなること分かる。一方で、中学生・高校生と年齢が上がるにつれて、「インターネット上の情報を見て」本を選ぶ割合も高くなっていく。また、高校生においては、「映画やドラマ、アニメ、ゲームの原作・ノベライズ」など別メディアをきっかけとした読書や、「芸能人の著作・おすすめ本」など関心のある人物をきっかけとした読書が特徴として挙げられる。



	小学生		中学生		高校生	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
1書店で見て	251	9.2%	447	14.1%	1146	16.0%
2図書館で見て	325	11.9%	183	5.8%	343	4.8%
3新聞や雑誌の記事や広告を見て	40	1.5%	55	1.7%	166	2.3%
4本を紹介するテレビやラジオで知って	62	2.3%	81	2.6%	245	3.4%
5インターネット上の情報を見て	120	4.4%	287	9.1%	884	12.3%
6先生にすすめられたから	23	0.8%	21	0.7%	29	0.4%
7家の人にすすめられたから	131	4.8%	101	3.2%	176	2.5%
8友達にすすめられたから	156	5.7%	185	5.9%	328	4.6%
9もらったから・家にあったから	193	7.1%	146	4.6%	196	2.7%
10著者が好きだから	115	4.2%	187	5.9%	517	7.2%
11書名がおもしろそうだから	291	10.7%	250	7.9%	566	7.9%
12表紙が好きだから	153	5.6%	265	8.4%	494	6.9%
13話題の本(ベストセラー)だから	102	3.7%	193	6.1%	496	6.9%
14昔から有名な本(ロングセラー)だったから	46	1.7%	69	2.2%	147	2.1%
15推薦図書・優良図書だから	51	1.9%	31	1.0%	80	1.1%
16教科書にのっていたから	72	2.6%	26	0.8%	62	0.9%
17映画やドラマの原作だから	153	5.6%	249	7.9%	646	9.0%
18習慣になっているから	73	2.7%	68	2.2%	78	1.1%
19授業・学習に役立てるため	83	3.0%	43	1.4%	100	1.4%
20部活動や趣味に役立てるため	114	4.2%	126	4.0%	221	3.1%
21将来のため・夢をかなえるため	124	4.6%	98	3.1%	176	2.5%

※網掛けは各世代の上位3項目

#### 22その他の内訳

##### 【小学生】

- ・読書が好きだから(5) ・好きなアニメ・ゲームの原作・ノベライズだから(2) ・好きなシリーズの続編だから(2) ・好きなジャンルの本だから(4)
- ・朝読(3) ・学校に本があったから(2) ・読解力を得るため ・調べものため(4)
- ・家族が読んでいたから ・友達が読んでいたから(2) ・おもしろそうだから(12) ・暇だから、何となく(7)

##### 【中学生】

- ・読書が好きだから(3) ・好きなアニメ・ゲームの原作・ノベライズだから(9) ・好きなシリーズの続編だから(2) ・好きなジャンルの本だから(6)
- ・キャラクターが好きだから(2) ・有名な曲が元になった小説だから(2) ・本をたくさん読みたいから ・文学賞受賞作だから ・あらすじを見て(6)
- ・朝読、課題等(4) ・友達が読んでいたから(2) ・読み応えがありそうだから ・広告で見て ・暇だから、何となく(6)

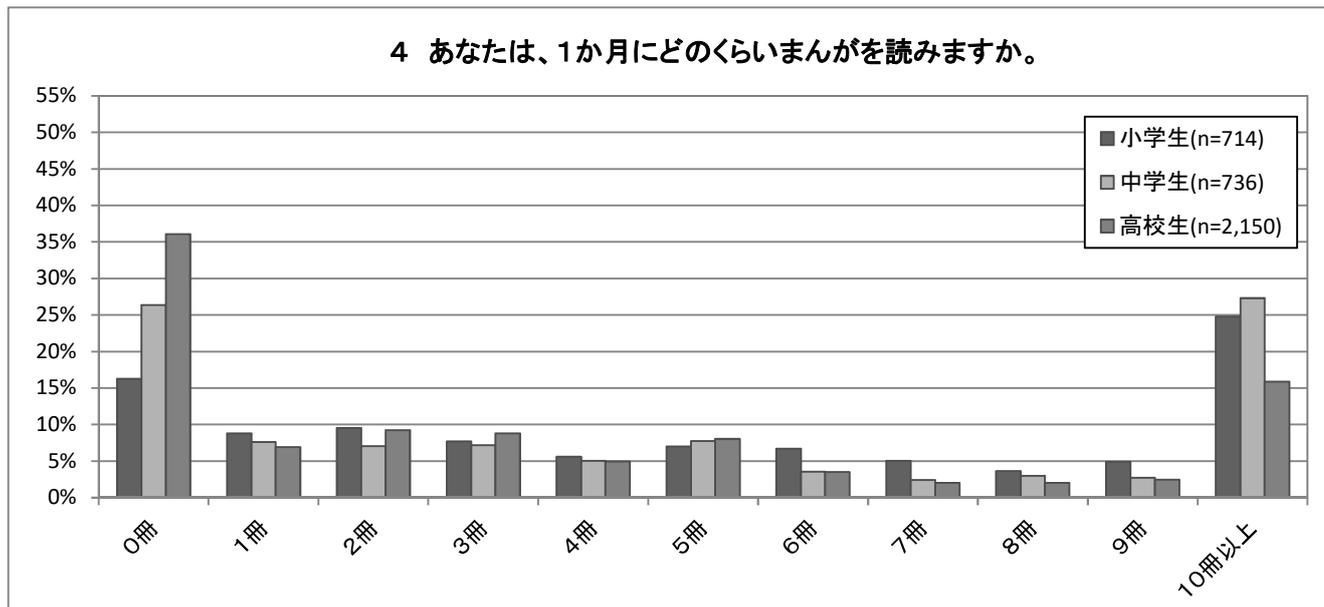
##### 【高校生】

- ・読書が好きだから(3) ・好きなアニメ・ゲーム・まがの原作・ノベライズだから(6) ・好きなシリーズの続編だから(3) ・好きなジャンルの本だから(2)
- ・好きな芸能人がすすめていた/書いたから(8) ・ゲームで知った文豪の著作だから(2) ・文学賞受賞作だから ・あらすじを見て(3)
- ・朝読、課題等(12) ・学校に本があったから(2) ・テスト問題で読んで興味を持ったから(2) ・知識が増えることが嬉しいから
- ・SNSで見て(7) ・本の厚みを見て ・小さい子に読み聞かせをするため ・暇だから、何となく(11)

#### 4 1か月の平均まんが読書量(電子書籍を含む)

全ての世代において、まんがを一冊も読まない者と10冊以上読む者とで二極化する傾向にある。

また、まんがを電子書籍で読む者の割合は、図書(まんが・雑誌を除く)を電子書籍で読む者の割合と比べて、全ての世代で高く、特に高校生では、まんがの全読書量の半数を電子書籍による読書が占める。



1か月の平均まんが読書量

小学生	10.01 冊
中学生	10.07 冊
高校生	5.38 冊

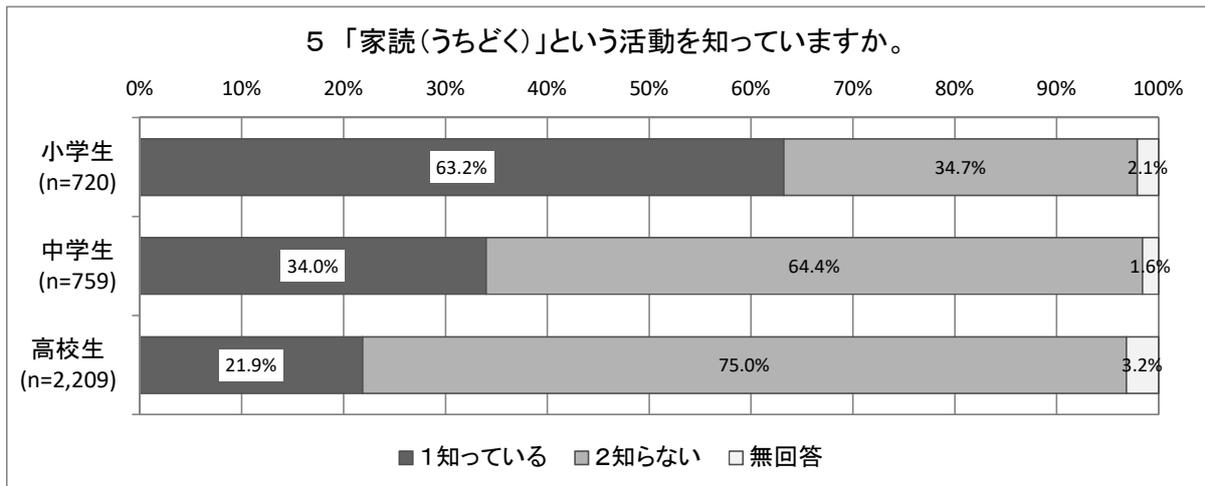
まんがの全読書冊数のうち、電子書籍による読書が占める割合

	電子書籍の割合	電子書籍(冊)	全読書冊数(冊)
小学生	15.3%	1,094	7,147
中学生	30.8%	2,287	7,414
高校生	50.5%	5,844	11,568

	0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊	7冊	8冊	9冊	10冊以上	計
小学生	116	63	68	55	40	50	48	36	26	35	177	714
(割合)	16.2%	8.8%	9.5%	7.7%	5.6%	7.0%	6.7%	5.0%	3.6%	4.9%	24.8%	100.0%
中学生	194	56	52	53	37	57	26	18	22	20	201	736
(割合)	26.4%	7.6%	7.1%	7.2%	5.0%	7.7%	3.5%	2.4%	3.0%	2.7%	27.3%	100.0%
高校生	776	149	199	189	107	173	75	44	44	53	341	2,150
(割合)	36.1%	6.9%	9.3%	8.8%	5.0%	8.0%	3.5%	2.0%	2.0%	2.5%	15.9%	100.0%

## 5 「家読(うちどく)」を知っているか

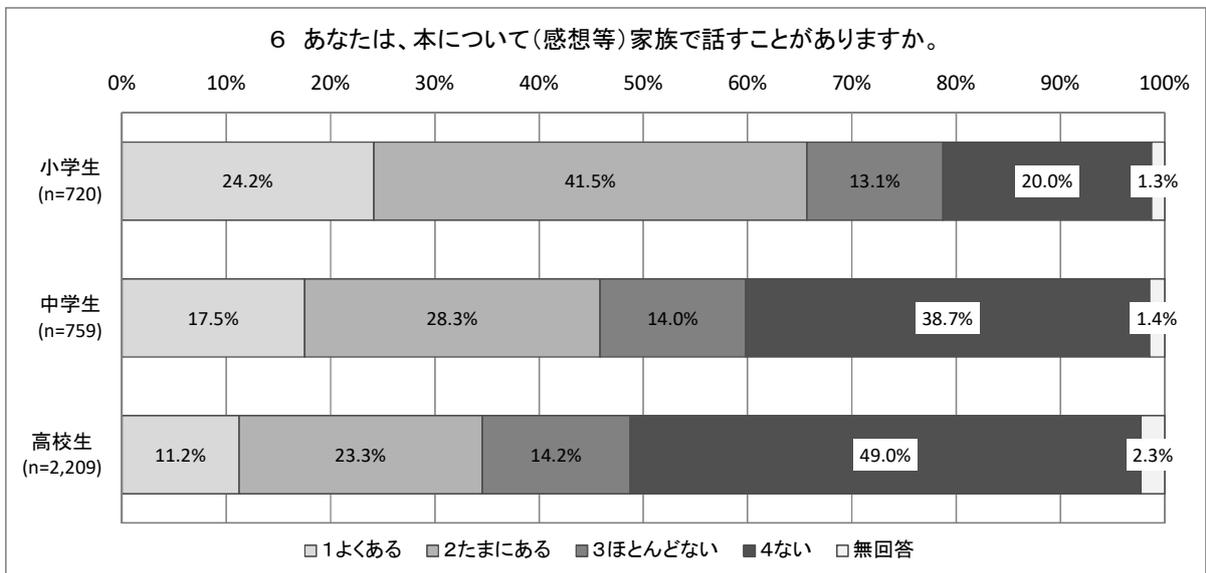
小学生の認知度が6割を超えており、小学生を対象とした「家読」関連の取組が県内各地で浸透している状況が読み取れる。年齢が上がるにつれて認知度は下がる。



	1知っている		2知らない		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
小学生 (n=720)	455	63.2%	250	34.7%	15	2.1%
中学生 (n=759)	258	34.0%	489	64.4%	12	1.6%
高校生 (n=2,209)	483	21.9%	1656	75.0%	70	3.2%

## 6 家族で本の感想を話し合うことがあるか

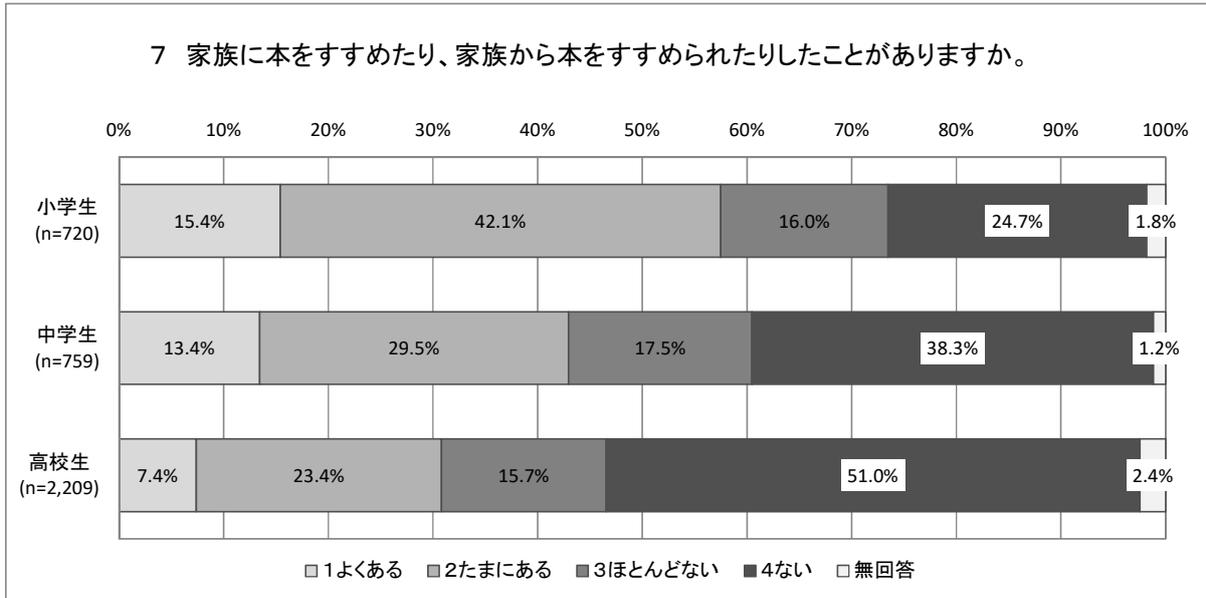
小学生では「よくある」「たまにある」との回答の合計が6割を超える。年齢が上がる割合は低くなり、高校生では約半数が「ない」と回答している。



	1よくある		2たまにある		3ほとんどない		4ない		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
小学生 (n=720)	174	24.2%	299	41.5%	94	13.1%	144	20.0%	9	1.3%
中学生 (n=759)	133	17.5%	215	28.3%	106	14.0%	294	38.7%	11	1.4%
高校生 (n=2,209)	248	11.2%	515	23.3%	314	14.2%	1082	49.0%	50	2.3%

## 7 家族で本をすすめ合うことがあるか

小学生では「よくある」「たまにある」との回答の合計が半数を超えるが、学齢が上がると割合は低くなる。

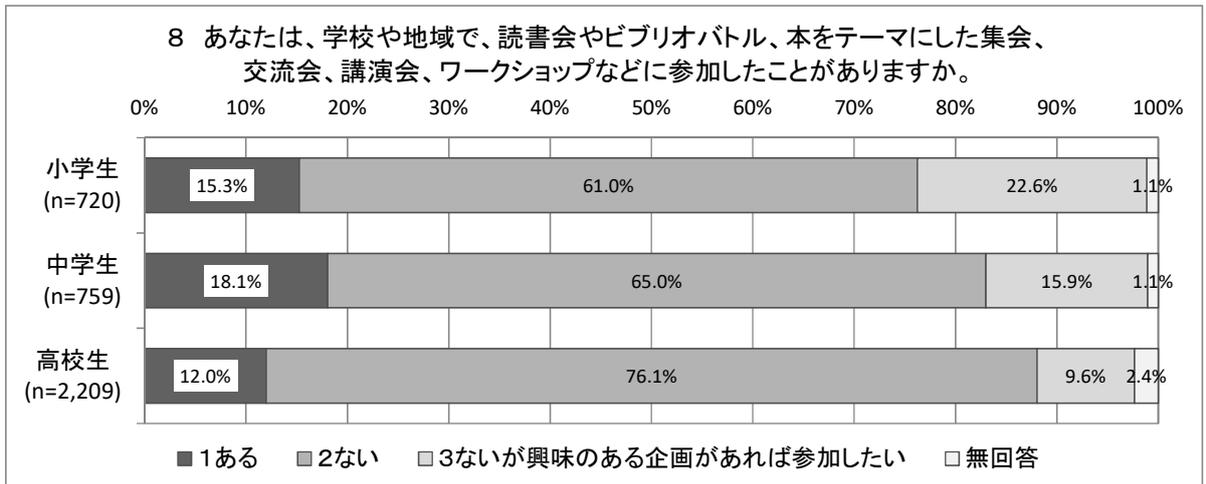


	1よくある		2たまにある		3ほとんどない		4ない		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
小学生 (n=720)	111	15.4%	303	42.1%	115	16.0%	178	24.7%	13	1.8%
中学生 (n=759)	102	13.4%	224	29.5%	133	17.5%	291	38.3%	9	1.2%
高校生 (n=2,209)	163	7.4%	518	23.4%	347	15.7%	1127	51.0%	54	2.4%

## 8 読書会やビブリオバトル、本をテーマにした集会、交流会、講演会、ワークショップへの参加

全ての世代において、「ある」と答えた割合は1～2割程度となっている。

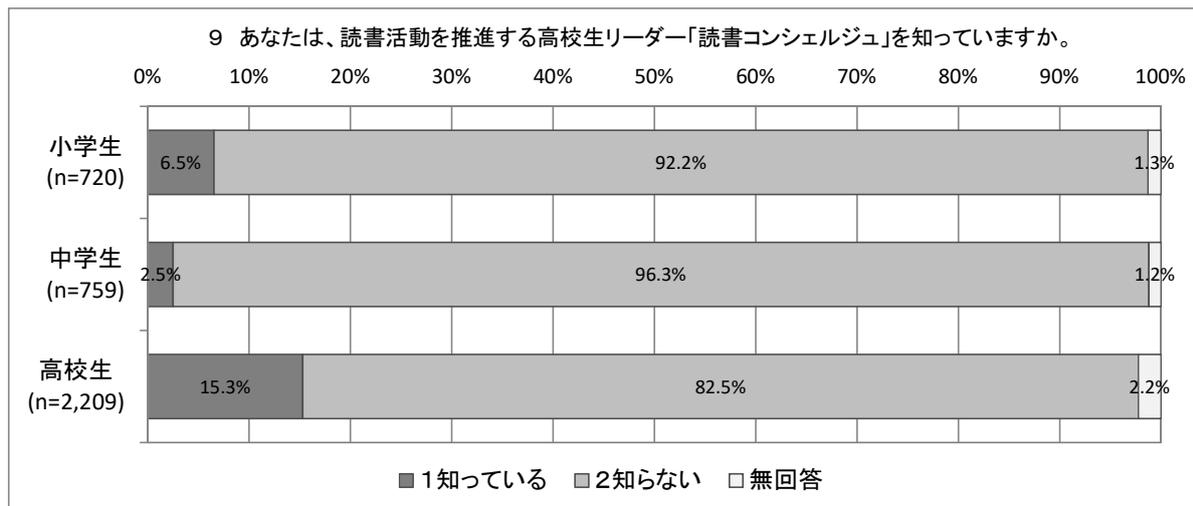
小学生では、「興味のある企画があれば参加したい」との回答が他の世代と比較して高く、子どもたちが興味を持つ企画を提供することで、読書への関心を高める効果が特に期待できる。



	1ある		2ない		3ないが興味のある企画があれば参加したい		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
小学生 (n=720)	110	15.3%	439	61.0%	163	22.6%	8	1.1%
中学生 (n=759)	137	18.1%	493	65.0%	121	15.9%	8	1.1%
高校生 (n=2,209)	265	12.0%	1680	76.1%	212	9.6%	52	2.4%

### 9 「読書コンシェルジュ」を知っているか

高校生においても、認知度は2割に満たない低い水準にとどまっている。



	1知っている		2知らない		無回答	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
小学生 (n=720)	47	6.5%	664	92.2%	9	1.3%
中学生 (n=759)	19	2.5%	731	96.3%	9	1.2%
高校生 (n=2,209)	338	15.3%	1822	82.5%	49	2.2%